

# 目標達成にこだわった授業実践のさらなる充実 ～本時の目標で貫かれた授業を～

単元(題材)で身に付けたい資質・能力を育成するためには、各時間の目標達成を積み重ねることが不可欠です。そして、本時の目標を達成するためには、学習課題、学習活動、振り返る活動が、「本時の目標で貫かれた授業」を意識することが大切になってきます。



児童生徒が生き生きと学習活動に参加していても、その学習活動が本時の目標と整合しない活動であったとしたら、目標達成が難しくなりますね。

本時の目標で貫かれた授業にするには、まず**適切な目標**とその**目標を達成した児童生徒の姿**を明確にします。その上で児童生徒を目標達成につなげるための学習課題、学習活動、振り返る活動を設定します。

## ①適切な目標の設定

- 学習指導要領解説(指導事項)
- 単元(題材)で育成を目指す資質・能力
- 単元(題材)のまとまりの中での本時の位置付け 等を踏まえて適切に設定

何ができるようになるか  
何を学ぶか

## ③学習課題の設定

- 目標や目標達成の姿との整合
- 目標達成につなげるための必然性のある学習課題

## ④学習活動の設定

- 目標や目標達成の姿、学習課題との整合
- 目標達成につなげるための意図的な学習形態
- 目標達成につなげるための発問、手立て、支援の工夫 等

どのように学ぶか

## ⑤振り返る活動の設定

- 学習課題と整合するまとめ
- 目標達成につなげるための個に戻る活動
- 目標達成や自己の変容等を自覚できる振り返りの視点 等

## ②目標を達成した児童生徒の姿・評価規準の設定

- 児童生徒の目標達成を見取る視点 (評価場面・方法)
- 目標を達成した児童生徒の姿を具体的に想定(発言・記述等)

何が身に付いたか

